

4 教科に関する調査の結果

(1) 福島県全体の平均正答率 (%)

	小学校 4 年	小学校 5 年	小学校 6 年	中学校 1 年	中学校 2 年
国語	55.3	57.3	58.9	58.3	66.1
算数・数学	68.7	58.4	58.6	59.1	56.2

(2) 福島県全体のカテゴリー別正答率 (%)

【国語】

	教科の領域等別平均正答率				評価の観点別平均正答率			問題形式別平均正答率			
	言葉の特徴や 使い方	我が国の 言語文化	情報の扱い方、 扱ったこと	話すこと・ 書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・ 表現	主体的に 学習に取り 組む態度	選択式	短答式	記述式
小学校 4 年	68.0	64.4	29.1	38.4	66.9	33.3	—	58.8	54.9	14.5	
小学校 5 年	60.0	62.5	40.4	58.6	60.6	53.0	—	56.9	59.7	34.0	
小学校 6 年	63.4	73.3	44.6	53.5	65.2	50.8	—	60.4	57.7	42.2	
中学校 1 年	61.2	51.5	50.1	62.1	58.5	58.1	—	54.8	66.3	46.5	
	教科の領域等別平均正答率				評価の観点別平均正答率			問題形式別平均正答率			
	話すこと・ 書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と 国語の特質に 関する事項	国語への関心・ 意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式
中学校 2 年	67.1	57.4	70.5	—	78.0	54.2	57.4	69.9	67.4	64.3	54.2

【算数・数学】

	教科の領域等別平均正答率				評価の観点別平均正答率			問題形式別平均正答率			
	数と計算	図形	測定(小4) 変化と関係 (小5・中2)	データの活用	知識・技能	思考・判断・ 表現	主体的に 学習に取り 組む態度	選択式	短答式	記述式	
小学校 4 年	72.2	60.8	71.5	66.5	71.3	51.6	—	64.7	75.7	18.9	
小学校 5 年	60.7	57.3	58.3	54.6	62.1	49.0	—	57.8	61.9	11.7	
小学校 6 年	61.0	61.6	60.1	50.0	59.7	52.5	—	60.4	60.2	5.0	
中学校 1 年	64.1	51.1	56.9	62.2	61.3	37.9	—	62.2	57.2	38.0	
	教科の領域等別平均正答率				評価の観点別平均正答率			問題形式別平均正答率			
	数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・ 意欲・態度	数学的な見方や 考え方	数学的な技能	数量や図形などにつ いての知識・理解	選択式	短答式	記述式
中学校 2 年	56.8	50.9	56.0	60.9	—	51.9	56.0	58.4	57.0	55.7	52.0

(3) 「学力のレベル」と「学力の伸び」について

各学年ごとのレベルの範囲 (白が当該学年のレベルの範囲です)

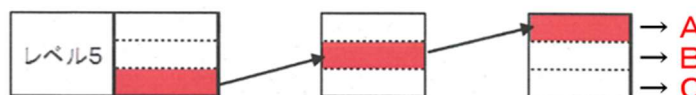
レベル	各学年ごとのレベルの範囲						レベル	レベル(3分割)	数値
	小4	小5	小6	中1	中2	中3			
レベル12							レベル12	12-A	36
								12-B	35
								12-C	34
レベル11							レベル11	11-A	33
								11-B	32
								11-C	31
レベル10							レベル10	10-A	30
								10-B	29
								10-C	28
レベル9							レベル9	9-A	27
								9-B	26
								9-C	25
レベル8							レベル8	8-A	24
								8-B	23
								8-C	22
レベル7							レベル7	7-A	21
								7-B	20
								7-C	19
レベル6							レベル6	6-A	18
								6-B	17
								6-C	16
レベル5							レベル5	5-A	15
								5-B	14
								5-C	13
レベル4							レベル4	4-A	12
								4-B	11
								4-C	10
レベル3							レベル3	3-A	9
								3-B	8
								3-C	7
レベル2							レベル2	2-A	6
								2-B	5
								2-C	4
レベル1							レベル1	1-A	3
								1-B	2
								1-C	1

1 学力のレベル

全ての問題に難易度を設定し、「どのくらい難しい問題を解く力があるか」を「学力のレベル」で表す。「学力のレベル」は12段階あるが、測定は各学年7レベルの間で行う。

※ 福島県で中学3年生は実施しない。

さらに、1つの「学力のレベル」は3分割され、「学力の伸び」が詳細に分かる。例えば、同じレベル5でも、「学力のレベル」が高くなるとバーの位置が上がる。



2 学力の伸び

集計対象となる児童生徒の「学力のレベル(3分割)」を数値化(例: 1-Cは“1”、12-Aは“36”)し、前回調査との差を計算する。

3 「学力が伸びた児童生徒」の定義

「学力のレベル(3分割)」を数値化した数値が、前年度から1以上増加した児童生徒を「学力が伸びた児童生徒」と捉える。ただし、令和2年度調査は、新型コロナウイルス感染拡大防止による一斉臨時休業の影響を考慮して中止したため、今年度は一昨年度から数値が2以上増加した児童生徒を「学力が伸びた児童生徒」と捉える。

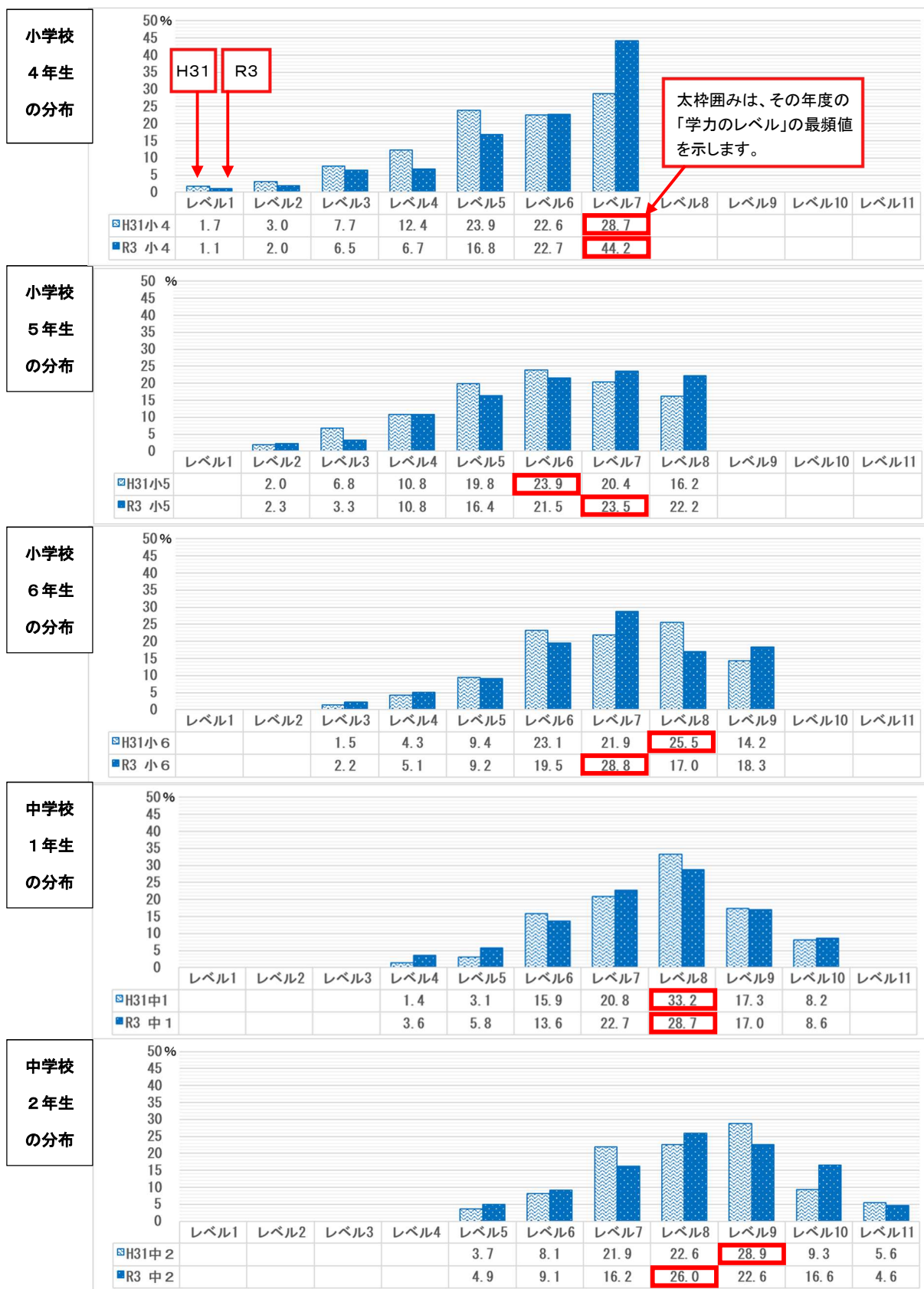
4 平成31年度(令和元年度)調査から学力が伸びた児童生徒の割合(県全体)

	小学校6年	中学校1年	中学校2年
国語	83.5%	87.6%	76.3%
算数・数学	73.5%	76.5%	70.8%

※ 前回は平成31年度(令和元年度)調査のため、今年度の小学校4年生及び小学校5年生の児童の学力の伸びが見られるのは令和4年度調査実施後となる。

(4) 福島県の「学力のレベル」の分布 ① 国語

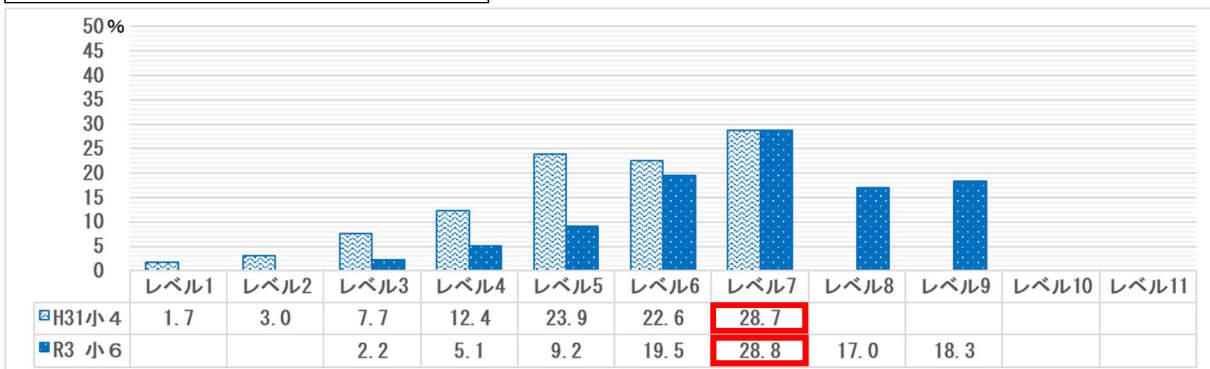
【年度の異なる同じ学年の比較（国語）】



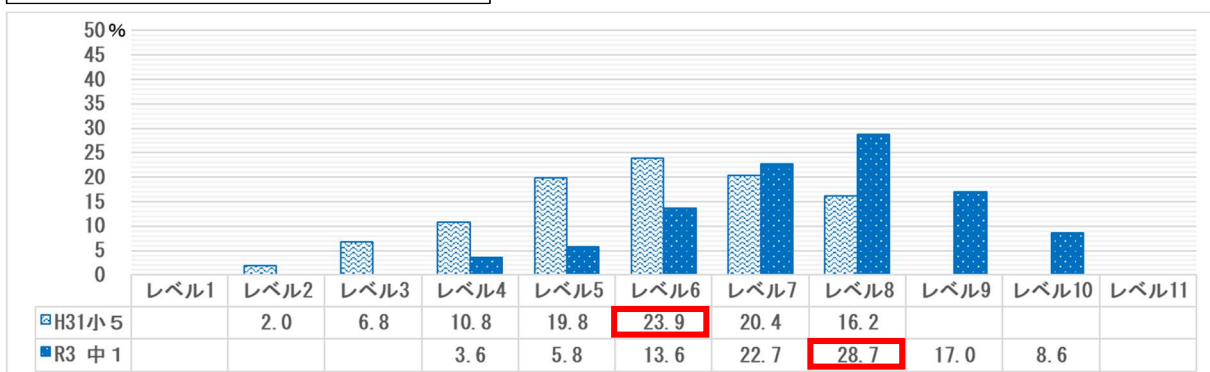
※ 各学力レベルに属する児童生徒の分布割合は四捨五入していますので、合計が100%にならない場合があります。

【同じ学年集団の経年比較（国語）】

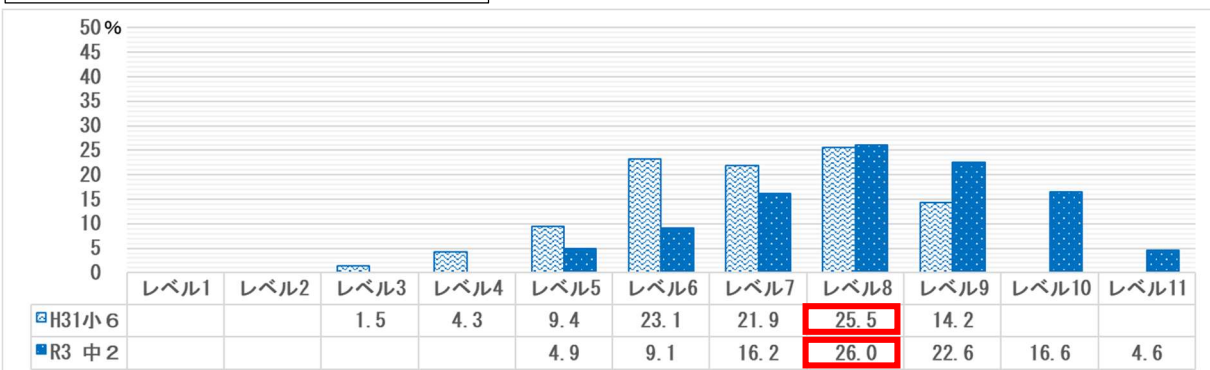
H31小学校4年生 → R3小学校6年生



H31小学校5年生 → R3中学校1年生



H31小学校6年生 → R3中学校2年生



【年度の異なる同じ学年の比較（国語）】

○ 各学年の最上位の「学力のレベル」で比較すると、令和3年度の方がおおむね割合が多く、上位の学力水準が高くなっている。特に、小学校4年生で最上位のレベル7に位置する児童が、平成31年度調査に比べ15.5%pt多い。

● 「学力のレベル」の最頻値が小学校5年生でレベル6からレベル7に1段階上がっている一方、小学校6年生はレベル8からレベル7へ、中学校2年生はレベル9からレベル8へそれぞれ1段階下がっている。

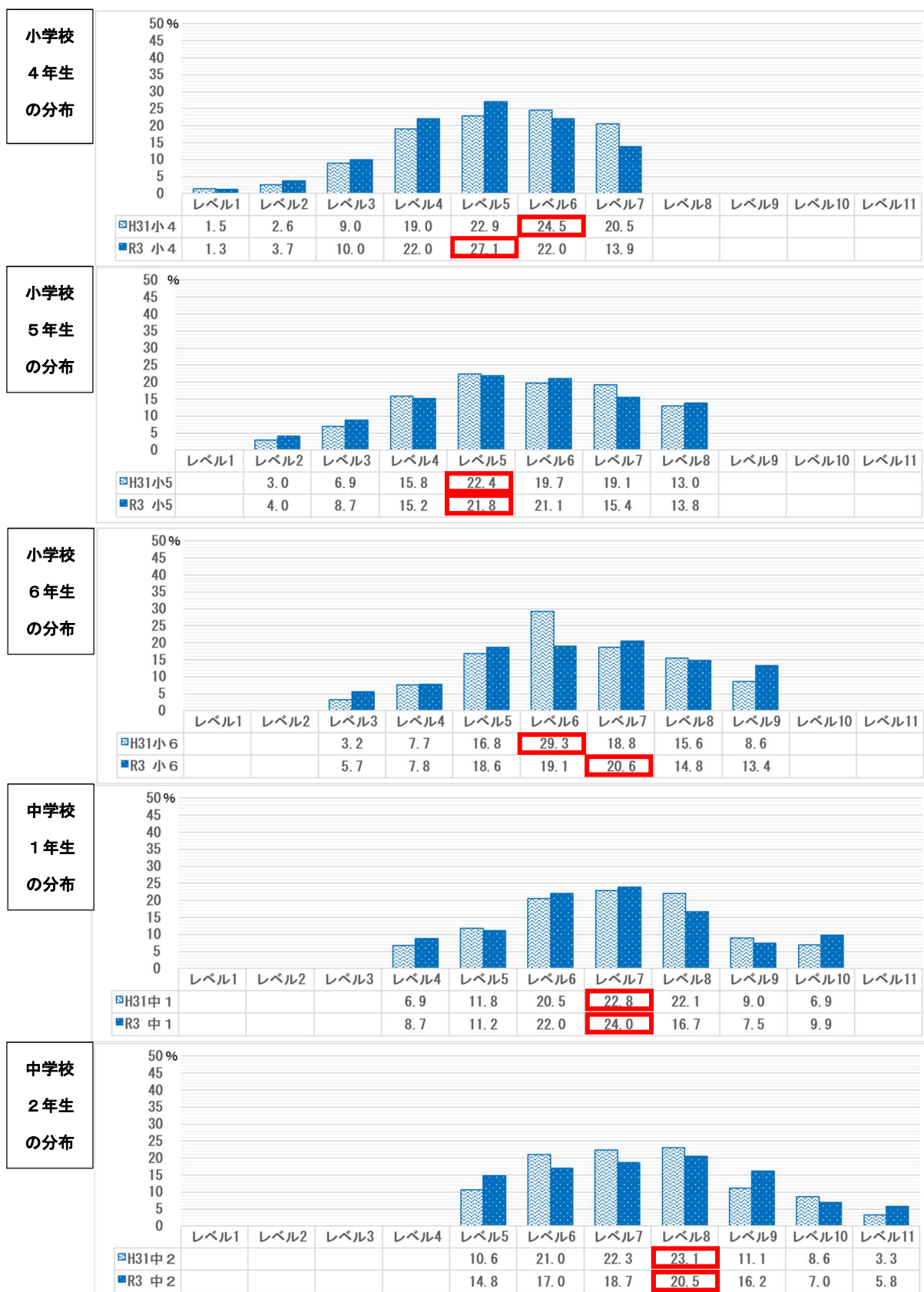
【同じ学年集団の経年比較（国語）】

○ 令和3年度の中学校1年生は、平成31年度の小学校5年生の時点から「学力のレベル」の最頻値が2段階上がっている。令和3年度の小学校6年生と中学校2年生は、最頻値が平成31年度の時点と同じレベルに留まっているが、最上位のレベルを見ると、難易度が上がっている中でも小学校6年生で18.3%、中学校2年生で4.6%の児童生徒がいる。

● どの学年も、学年が上がるにつれて最上位のレベルの割合がおおよそ10%pt減っている。

(4) 福島県の「学力のレベル」の分布 ② 算数・数学

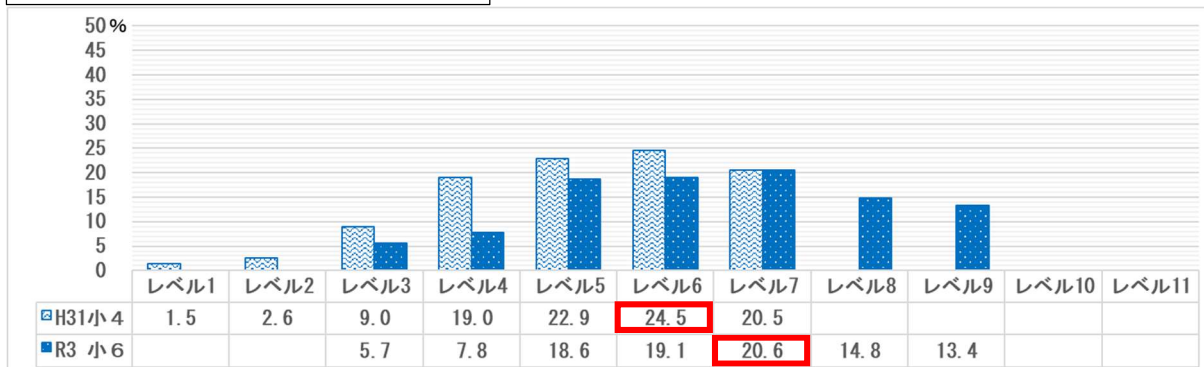
【年度の異なる同じ学年の比較（算数・数学）】



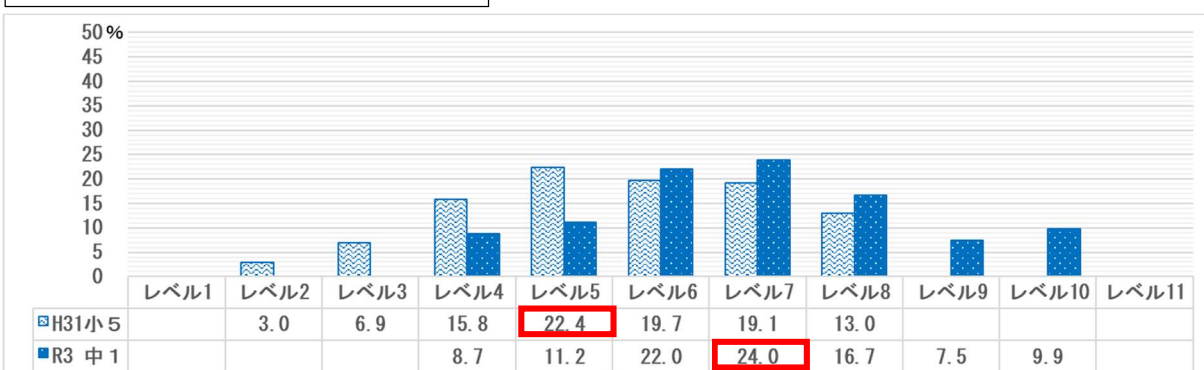
※ 各学力レベルに属する児童生徒の分布割合は四捨五入していますので、合計が100%にならない場合があります。

【同じ学年集団の経年比較（算数・数学）】

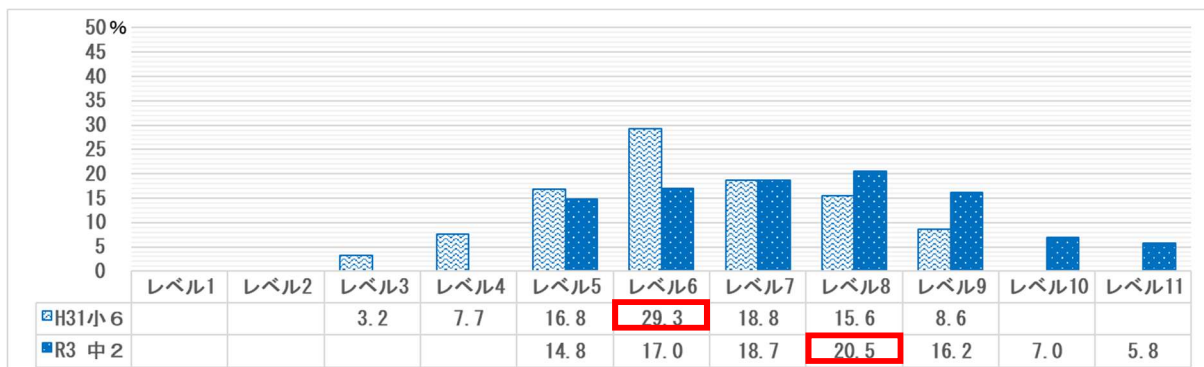
H31小学校4年生 → R3小学校6年生



H31小学校5年生 → R3中学校1年生



H31小学校6年生 → R3中学校2年生



【年度の異なる同じ学年の比較（算数・数学）】

- 令和3年度の小学校6年生の分布を見ると、平成31年度に比べ「学力のレベル」の最頻値が1段階上がり、高いレベルの分布が増加している。最上位のレベル9に位置する児童は、平成31年度より4.8%pt多い。また、令和3年度の小学校5年生と6年生及び中学校1年生と2年生の最上位のレベルに位置する児童生徒の割合は、平成31年度の同学年に比べて多い。
- 令和3年度の小学校4年生の分布を見ると、平成31年度に比べ1段階下のレベルに最頻値があり、最上位のレベル7に位置する児童が、平成31年度より6.6%pt少ない。また、令和3年度の小学校5年生と6年生及び中学校1年生と2年生の最下位のレベルに位置する児童生徒の割合は、平成31年度の同学年に比べて多い。

【同じ学年集団の経年比較（算数・数学）】

- 令和3年度は、いずれの学年においても、学力のレベルの最頻値が上がっており、着実に学力を伸ばしている。
- どの学年も、学年が上がるにつれて最上位のレベルの割合が減っており、最下位のレベルの割合が増えている。令和3年度の中学校2年生は、最下位のレベルに位置する生徒の割合が11.6%pt増えている。